

平成17年12月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)



上場会社名 日本マクドナルドホールディングス株式会社

(URL <http://www.mcd-holdings.co.jp/>)

平成17年5月9日
(コード番号:2702 JQ)

代表者 役職名 代表取締役会長兼社長 氏名 原田 永幸
 問合せ責任者 役職名 経理グループ部長 氏名 池田 哲司

TEL:(03)6911-6061

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 :有
 (内容) 法人税等の計上基準については簡便な方法を採用しています。
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 :無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 :無

2. 平成17年12月期第1四半期財務・業績の概況(平成17年1月1日～平成17年3月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)金額は百万円未満を切捨

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年12月期第1四半期	82,144	8.8	3,011	78.5	2,984	74.4
16年12月期第1四半期	75,498	0.1	1,686	76.0	1,710	92.9
(参考)16年12月期	308,079	2.8	7,244	154.9	7,277	283.7

	四半期(当期)純利益		1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
17年12月期第1四半期	1,923	243.2	14	47	-	-
16年12月期第1四半期	560	13.2	4	22	-	-
(参考)16年12月期	3,680	-	27	68	-	-

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(2) 経営成績(連結)の進捗状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
17年12月期第1四半期	191,477	137,792	72.0	1,036	34
16年12月期第1四半期	197,937	138,908	70.2	1,044	74
(参考)16年12月期	190,909	140,174	73.4	1,054	26

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等 物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年12月期第1四半期	3,487	2,147	2,667	12,363
16年12月期第1四半期	13,297	2,491	8,183	8,185
(参考)16年12月期	800	4,266	3,964	8,355

【参考】平成17年12月期の連結業績予想(平成17年1月1日～平成17年12月31日)

第1四半期の業績は予定通り推移しており、中間期、通期とも、平成17年2月10日の平成16年12月期決算発表時に公表しました業績予想に変更はありません。

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	159,104	3,304	1,858
通期	327,033	9,329	5,170

(参考)1株当たりの予想当期純利益(通期) 38円 88銭

上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

3. 平成17年12月期第1四半期 経営成績及び財政状態の概況

(1) 経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等

第1四半期(1~3月) 既存店売上高前年同期比 +6.9%、連結経常利益 前年同期比12億73百万円増

昨年終盤に減速の様相を呈していた日本経済は、平成17年に入り持ち直した局面もありましたが、第1四半期中に生産、消費とも再び落ち込みを見せ始めました。先行きについても、原油価格の高騰、高値安定が長期化すると懸念が産業界及び消費者間に広がるなど景気回復を予想するには慎重にならざるを得ず、消費を抑制する要因となっています。

そのような経済状況のなか、当社グループの基幹ビジネスである日本マクドナルド株式会社のハンバーガーレストラン事業は、平成15年第4四半期から連続6四半期、既存店売上高(注)が前年同期を上回るなど売上が回復しております。当第1四半期の既存店売上高は対前年同期比で6.9%の増加となり、営業利益、経常利益ともに前年同期を上回りました。これは、平成16年第4四半期より同社が集中的に取り組んできた3つの戦略的課題「ブランドの再構築」「店舗体験の向上」「組織の統合・強化と能力開発」が、マクドナルドのブランドを支えるQSC+V(Quality 品質、Service サービス、Cleanliness 清潔、Value 価値)を向上させ、再び多くのお客様の支持を得るに至った結果といえます。当期はこの3つの戦略に加えて、同社が従来から掲げる要素である「バリュー」「サービス」「ファミリー」に焦点を絞った活動をさらに強化してまいります。

当第1四半期におきましては、アメリカ・シカゴに世界のマクドナルド1号店がオープンして4月15日で50年になることを記念して、50周年記念クーポンを効果的に配布したほか、50thアニバーサリープロモーションを次々と展開いたしました。また、人気メニューの「フィレオフィッシュ」「チキンマックナゲット」「ホットアップルパイ」「フィッシュマックディッパー」「マックシェイク」を順次お手ごろな価格で提供したことが来店客数の増加に大きく寄与しました。お子様に圧倒的に支持されているハッピーセットも、「ポケットモンスター」「THE DOG」「シナモロール&ラナバウト」を販売し、いずれも大好評を博しました。

また、総合的な価値の提供のひとつとして、ライフスタイルの変化に伴うお客様のニーズにあわせ、多くの店舗で開店時刻を早朝の6時30分に早め、売上を伸ばしております。

平成16年12月期末までに、ほぼ全店導入を完了した「メイドフォーユー」(できたての商品をより早いスピードでお客様に提供するオーダーメイド調理システム)が、業績の回復の大きな牽引力となっておりますが、当期も前期に引き続き年間を通して既存店舗の改装を集中的に行ってまいります。当期の改装は、店舗デザインの差別化、増席、居心地の向上、分煙化などを主に行ってまいります。当第1四半期は12店舗について改装を実施いたしました。また、店舗展開につきましては、新規出店数はトラディショナル店舗(標準店舗)7店舗となりました。閉店数はトラディショナル店舗7店舗、サテライト店舗15店舗の合計22店舗となり、当第1四半期末の総店舗数は3,759店舗(前期末比純減15店舗)となっております。

以上のような活動の結果、当第1四半期のシステムワイドセールス(直営店舗とフランチャイズ店舗の合計売上高)は1,051億87百万円(対前年同四半期比7.4%増)となり、連結売上高は821億44百万円(対前年同四半期比8.8%増)、連結経常利益は29億84百万円(対前年同四半期比74.4%増)となりました。

(注)既存店売上高は、少なくとも13ヶ月以上営業している店舗を対象として、特定の期間におけるその店舗の売上高であります。前年同期と比較することにより営業のトレンドを測るものです。

(2) 財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等

当第1四半期末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、123億63百万円(前連結会計年度比51.0%増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は34億87百万円(前年同期は132億97百万円の使用)となりました。これは主に業績の向上により税金等調整前純利益が32億58百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は21億47百万円(前年同期比13.8%減)となりました。これは、主に店舗設備等の取得による支出が26億14百万円、情報システムの開発による支出が4億11百万円あった一方、敷金・保証金の回収による収入が9億32百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は26億67百万円(前年同期比67.4%減)となりました。これは、主に短期借入金による純増額が75億円あった一方、長期借入金の返済による支出12億50百万円及び配当金の支払による支出35億82百万円があったためであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

現時点では、通期連結業績予測に変更はありません。

今後もQSC+V(Quality 品質、Service サービス、Cleanliness 清潔、Value 価値)を平成17年4月よりスタートした新企画“見えないメニュー”の施策を通して提供し、継続的な成長を目指します。

<添付資料>

2. (要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当第1四半期 (自平成17年1月1日 至平成17年3月31日)		前第1四半期 (自平成16年1月1日 至平成16年3月31日)		増減 (印減)	前連結会計期間 (自平成16年1月1日 至平成16年12月31日)	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	金額	構成比
			%		%			%
売上高		82,144	100.0	75,498	100.0	6,645	308,079	100.0
売上原価		69,360	84.4	65,461	86.7	3,899	266,339	86.5
売上総利益		12,784	15.6	10,037	13.3	2,746	41,740	13.5
販売費及び一般管理費		9,772	11.9	8,350	11.1	1,422	34,496	11.1
営業利益		3,011	3.7	1,686	2.2	1,324	7,244	2.4
営業外収益		266	0.3	402	0.5	135	1,543	0.5
営業外費用		293	0.4	378	0.4	84	1,509	0.5
経常利益		2,984	3.6	1,710	2.3	1,273	7,277	2.4
特別利益		284	0.4	51	0.0	232	845	0.3
特別損失		10	0.0	699	0.9	689	1,450	0.5
税金等調整前 四半期(当期)純利益		3,258	4.0	1,062	1.4	2,195	6,672	2.2
法人税等		1,334	1.7	502	0.7	832	2,991	1.0
四半期(当期)純利益		1,923	2.3	560	0.7	1,363	3,680	1.2

(注) 増減は当第1四半期と前第1四半期との比較で表示しております。

<添付資料>

1. (要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	期 別	当第1四半期末 (平成17年3月31日)		前連結会計年度末 (平成16年12月31日)		増 減 (印減)	前第1四半期末 (平成16年3月31日)	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	金 額	構成比
(資産の部)			%		%			%
流動資産								
1. 現金及び預金		12,363		8,355		4,007	8,185	
2. 売掛金		7,492		7,762		269	6,864	
3. たな卸資産		2,609		2,721		111	2,918	
4. 繰延税金資産		788		788		-	2,867	
5. その他		4,811		4,910		316	4,873	
6. 貸倒引当金		55		94		39	89	
流動資産合計		28,010	14.6	24,444	12.8	3,566	25,619	12.9
固定資産								
1. 有形固定資産								
(1) 建物及び構築物		37,726		38,435		708	39,013	
(2) 機械装置		9,047		9,267		219	9,170	
(3) 工具器具及び備品		5,347		5,568		221	6,182	
(4) 土地		16,820		16,820		-	16,839	
(5) 建設仮勘定		152		118		34	9	
有形固定資産合計		69,094	36.1	70,209	36.8	1,114	71,214	36.0
2. 無形固定資産								
(1) 営業権		1,077		1,063		13	921	
(2) その他		3,834		4,046		211	4,486	
無形固定資産合計		4,911	2.6	5,109	2.7	198	5,407	2.7
3. 投資その他の資産								
(1) 投資有価証券		7,150		7,902		752	11,032	
(2) 長期貸付金		94		99		4	91	
(3) 繰延税金資産		4,006		3,787		219	3,287	
(4) 再評価に係る繰延税金資産		1,925		1,925		-	1,924	
(5) 敷金・保証金		71,462		72,153		691	75,841	
(6) その他		5,978		6,447		469	5,305	
(7) 貸倒引当金		1,157		1,170		13	1,789	
投資その他の資産合計		89,460	46.7	91,145	47.7	1,685	95,695	48.4
固定資産合計		163,466	85.4	166,465	87.2	2,998	172,317	87.1
資産合計		191,477	100.0	190,909	100.0	567	197,937	100.0

(注) 増減は当第1四半期末と前連結会計年度末との比較で表示しております。

(単位:百万円)

科目	期別	当第1四半期末 (平成17年3月31日)		前連結会計年度末 (平成16年12月31日)		増減 (印減)	前第1四半期末 (平成16年3月31日)	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	金額	構成比
(負債の部)								
流動負債			%		%			%
1. 支払手形及び買掛金		15,206		16,125		919	13,542	
2. 短期借入金		12,500		5,000		7,500	13,000	
3. 1年以内返済長期借入金		-		1,250		1,250	5,000	
4. 未払金		7,559		11,660		4,101	8,862	
5. 未払費用		7,074		6,640		434	6,527	
6. 未払法人税等		1,517		105		1,411	526	
7. 賞与引当金		3,021		1,600		1,421	3,154	
8. その他		4,047		5,659		1,612	4,866	
流動負債合計		50,927	26.6	48,042	25.2	2,885	55,481	28.0
固定負債								
1. 長期借入金		500		500		-	500	
2. 退職給付引当金		943		874		68	688	
3. 役員退職慰労引当金		107		76		30	53	
4. その他		1,206		1,240		34	2,304	
固定負債合計		2,757	1.4	2,692	1.4	65	3,547	1.8
負債合計		53,685	28.0	50,734	26.6	2,950	59,028	29.8
(資本の部)								
資本金		24,113	12.6	24,113	12.6	-	24,113	12.2
資本剰余金		42,124	22.0	42,124	22.1	-	42,124	21.3
利益剰余金		70,695	36.9	72,760	38.1	2,065	69,639	35.2
土地再評価差額金		2,806	1.4	2,806	1.5	-	2,805	1.4
その他有価証券評価差額金		3,665	1.9	3,983	2.1	317	5,837	2.9
自己株式		0	0.0	0	0.0	-	0	0.0
資本合計		137,792	72.0	140,174	73.4	2,382	138,908	70.2
負債及び資本合計		191,477	100.0	190,909	100.0	567	197,937	100.0

(注) 増減は当第1四半期末と前連結会計年度末との比較で表示しております。

<添付資料>

3. (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	当第1四半期	前第1四半期	前連結会計期間
		(自 平成17年1月1日 至 平成17年3月31日)	(自 平成16年1月1日 至 平成16年3月31日)	(自 平成16年1月1日 至 平成16年12月31日)
		金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益		3,258	1,062	6,672
減価償却費		2,169	2,527	9,005
引当金の増減額(減少:)		1,493	2,126	803
店舗閉鎖損失引当金の増減額(減少:)		-	169	298
未回収商品券収入		67	43	169
受取利息及び配当金		17	29	201
支払利息		5	15	52
持分法による投資損益		3	16	50
関係会社事業整理損失		-	-	150
固定資産除却損		209	152	1,188
売掛金の増減額(増加:)		245	884	9
たな卸資産の増減額(増加:)		111	216	20
フランチャイズ店舗の買取に係る 営業権の増減額(増加:)		13	97	121
その他の資産の増減額(増加:)		741	224	777
買掛金の増減額(減少:)		1,005	300	622
支払手形の増減額(減少:)		1,924	2,804	1,144
未払費用の増減額(減少:)		430	5	99
その他の負債の増減額(減少:)		4,071	5,653	3,350
その他		3	33	133
小計		3,566	2,114	12,035
利息及び配当金の受取額		19	14	163
利息の支払額		1	13	43
希望退職者特別退職金の支払額		-	3,553	3,551
経営役務契約解約金の支払額		-	6,249	6,249
マック・ビジョン事業撤退に伴う支払額		-	1,192	1,195
法人税等の支払額		97	189	359
営業活動によるキャッシュ・フロー		3,487	13,297	800

(単位:百万円)

科 目	期 別	当第1四半期	前第1四半期	前連結会計期間
		(自 平成17年1月1日 至 平成17年3月31日)	(自 平成16年1月1日 至 平成16年3月31日)	(自 平成16年1月1日 至 平成16年12月31日)
		金 額	金 額	金 額
投資活動によるキャッシュ・フロー				
店舗設備等の取得による支出		2,614	2,805	7,888
店舗設備等の売却による支出		149	172	1,651
投資有価証券の売却による収入		-	-	230
敷金・保証金の差入れによる支出		206	118	601
敷金・保証金の回収による収入		932	1,226	4,560
貸付金の回収による収入		3	2	33
関係会社への貸付による支出		-	550	650
情報システムの開発による支出		411	433	1,529
その他		0	14	74
投資活動によるキャッシュ・フロー		2,147	2,491	4,266
財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入れによる純増減額		7,500	13,000	5,000
長期借入金の返済による支出		1,250	1,250	5,000
配当金の支払による支出		3,582	3,566	3,964
自己株式の取得による支出		-	-	0
財務活動によるキャッシュ・フロー		2,667	8,183	3,964
現金及び現金同等物に係る換算差額		-	1	2
現金及び現金同等物の増加額(減少額:)		4,007	7,603	7,433
現金及び現金同等物の期首残高		8,355	15,789	15,789
現金及び現金同等物の期末残高		12,363	8,185	8,355